

令和2年度 事業計画

1 基本方針

田原市シルバー人材センターは、昭和59年10月に社団法人シルバー人材センター田原町高齢者能力活用協会として設立し、平成24年4月には公益社団法人へ移行し、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の下、高齢者の生きがいと健康づくりとともに、活力ある地域社会づくりに貢献できるよう努めております。

高齢者の就業は、生きがいの充実や健康の維持・増進とともに、経済的な生活の安定を図り、健康で意欲を持ち続けながら生涯を送ることのできる「生涯現役社会」の実現に資するものであります。

少子高齢化が進み、若い労働力が減少する中で、働く場を求める高齢者のニーズと働き手を求める地域の多様なニーズをつなぎ、高齢者の「居場所」と「出番」を創出し、社会参加を促進するセンターへの期待と役割は、ますます大きくなってきています。

今後も社会情勢を踏まえ、地域の日常生活に密着した就業機会を提供する公益目的の団体として、田原市をはじめ関係機関や市内事業所、市民の皆様のご理解とご支援をいただきながら、就業機会の確保と拡大、安全・適正就業の推進及び組織運営等の充実に取り組み、地域社会から一層信頼されるセンターとして、以下の事業を推進してまいります。

2 事業実施計画

(1) 就業機会の確保と拡大

会員のニーズに応じた受注の拡大や発注者のニーズに対応することにより、更なる就業機会の確保、提供を行う。

ア 会員の希望職種や就業履歴を勘案して、公平・公正な就業機会の提供と仕事の分かち合いの推進を図る。

イ 関係行政機関、事業所及び一般家庭等に対する就業機会の拡大に努める。

(2) 会員数の拡大

健康で働く意欲のある高齢者に対する会員の入会について、関係機関と連携しながら促進する。

ア 毎月開催する入会説明会において、就業相談を行い入会の促進を図る。

イ ホームページ、市広報紙及び公共機関等を活用し、入会促進に向けた啓発活動を行う。

ウ 各種催事に参加し、入会へのPR活動を実施する。

(3) 労働者派遣事業の推進

地域の多様なニーズに応えるとともに、会員の専門的な知識と経験を生かすため、公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会（以下「県シ連」という。）田原市事務所として、労働者派遣事業を推進する。

(4) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対して、就業機会を提供する有料職業紹介事業を実施する。

(5) 普及啓発活動の推進

[ここに入力]

シルバー人材センターの理念、活動を地域住民並びに関係者に広く周知し、シルバー事業への理解とイメージアップを図る。

ア ホームページの随時更新と充実を図る。

イ 会員の口コミの活用、市広報紙等への掲載を依頼する。

(6) 講習会の実施

生きがいや社会参加及び就業を希望する高齢者を対象に、新たな知識、技術及び技能等を習得するための講習会を開催する。

ア 剪定講習会を開催する。

イ 県シ連と共催し高齢者活躍人材確保育成事業の実施を検討する。

(7) 安全・適正就業の推進

「健康と安全・適正就業」を基本に、会員の健康維持と安全の確保を図りながら、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を遵守して、安全・適正就業の周知徹底を図る。

ア 安全・適正就業を推進するため、安全・適正就業委員会を開催する。

イ 事故状況の分析及び就業現場の安全パトロールを実施する。

ウ 「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図る。

エ 健康状況の確認と健康診断受診を奨励する。

オ 安全講習会、交通安全講習会を開催する。

(8) 調査・研究活動の実施

関係機関と連携し、地域ニーズ・課題等の情報収集を行うとともに、事業拡大に向けた調査・研究を行う。

ア 関係機関との連携及び情報収集を行う。

イ 他センターとの情報交換及び先進事例の調査研究を行う。

(9) 相談・情報提供の推進

高齢者の就業ニーズに係る相談を行うとともに、就業等の情報提供を行い、社会参加の推進を図る。

ア 未就業会員及び新規入会会員への就業相談を実施する。

イ 関係機関と連携し、就業に関する相談を実施する。

(10) 社会参加活動の推進

会員のボランティア活動等により、社会参加活動の推進を図る。

ア 剪定・清掃等ボランティア活動を実施する。

イ 地域のニーズに対応したボランティア活動の推進を行う。

(11) 東三河市町村シルバー人材センターとの連携強化

各センターとの連携強化を図り、相互発展を目指す。

(12) 組織運営の充実と財政基盤の強化

ア 会員、役員、事務局が一体となった活力ある事業運営を図る。

イ 受注業務を円滑・効率的に推進するため、会員主体の自主的運営体制の確立を図る。

ウ 会員相互の交流を深めるための機会を増やすことを検討する。